

(「一寸先は光です」)

校長だより

平成29年11月28日(火)

第20号

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長)

那覇西高等学校長 長濱 雅仁

「いつも太陽の光に顔を向けていれば、影を見ることはありません」—ヘレンケラー—

◆期末考査11月28日～12月1日 ヘッドワークの「最大出力」 求められています。文武両道の進学校である本校に在学し、「高い志」を持ち、日々部活動・勉学に励んでいる皆さんへ「夢・栄光の向こう岸に辿り着くには、どうしても「努力」という大河を渡らなければなりません。

*「高い志」を掲げ、本県トップクラスの猛練習に耐え、培われた皆さんの体力・精神力を活かし、今年最後の期末考査により結果がもたらされると期待しています。現状維持は退歩につながります！

校長武辺話：本校体育科1期生の担任だった時(1-9)の話です。私は担任として日頃からクラスの生徒達に伝えていたことがあります。それは「単位保留34点以下」を取った生徒は毎朝6時から体育教官室で担任と一緒に勉強すること。毎日のように口酸っぱく言い続けたにもかかわらず、4～5名の生徒が34点以下を取ってきたのです。約束通り、早朝勉強を余儀なくされたのですが親御さんからの苦情は0。それどころか成績は向上。内2名は現在本務の教員として活躍中です。

■校内外の小さな変化・成果がありました！気がついたでしょうか？

• 10月の多読クラスと多読者3位以内は次のとおりです。多読クラスは1位2年7組256冊、2位2年5組116冊、3位1年4組109冊でした。多読者1位は本村拓君(2-5)で91冊、2位は上原袖妃さん(1-7)88冊、3位宮城孝明君(1-4)で87冊でした。「本は心の栄養」と言われています「読書は準備！幸せは準備された人に、心に訪れる。」そうだとしたら、図書館は幸せの入り口かもしれません。

「ヌーガ。ハククヨ」という千安先生と山城先生の天使の声が図書館口から聞こえてきましたか？

• 25日(土)朝、早朝練習の前に1年9組前の廊下、溝を清掃してくれた男子サッカー部の男生徒本当にありがとう。人の見えないところで黙々と善行が行われているところに本校の伝統の重みを感じています。

武辺話「やっかいどう」&かまぼこ三人娘 編

27日(月)琉球新報朝刊の一面に小禄中学校での教え子が掲載されていました。新聞を見て「あ、かーよーだ」と心の中で思わず叫びました。35年前の水泳部の頃と全く変わらない奥平加代子さんでした。糸満市の西南門小カマボコ屋は消費が落ち込む沖縄カマボコをPRしようと「かまぼこ3人娘」を結成したそうです。かーよーの嫁ぎ先のかまぼこ屋は2019年に創業100周年を迎えるため、「かまぼこの日」(11月15日)にパンを無料配布したり、市内の保育園でデモンストラショにかまぼこ作りを行うなど新たな取り組みを始め、様々な企画を検討しているそうです。カマボコも天国から見守り、きっと喜んでいることでしょう。ところでこの記事を見て、北海道が「やっかいどう」と呼ばれていた頃の話が頭に浮かんできました。寒冷地であって、米は育ちにくく、味もイマイチ。プロ野球の日本ハム球団を誘致する運動も始めた時は地元ですら「来るわけないだろ。こんな寒いところに」とほとんど相手にされなかったそうです。しかし、今では「こしひかり」に並ぶほど米の品質が改良され、「ゆめぴりか」として全国で売られています。また、日本ハム誘致にも成功し、昨年も日本一に輝きました。今では「日本ハム球団」と「ゆめぴりか米」は北海道民の誇りとなっています。Life isn't About Waiting for the storm to pass.... It's about learning to Dance in the Rain! "(人生は、どんな困難な状況にあっても、希望を持って歩めば幸せを見いだすことができる)・・・校長だより19号からの引用でした。